



## 平成31年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年9月28日

上場会社名 株式会社 岡山製紙 上場取引所 東  
 コード番号 3892 URL <http://www.okavamaseishi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津川 孝太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 妻鹿 徹 TEL 086-262-1101  
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年5月期第1四半期の業績（平成30年6月1日～平成30年8月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年5月期第1四半期	2,518	14.1	277	—	300	—	207	—
30年5月期第1四半期	2,208	1.5	△139	—	△118	—	△85	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年5月期第1四半期	42.09	—
30年5月期第1四半期	△17.31	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年5月期第1四半期	12,371	66.8	8,262	66.8	8,262	66.8
30年5月期	12,101	66.1	7,999	66.1	7,999	66.1

(参考) 自己資本 31年5月期第1四半期 8,262百万円 30年5月期 7,999百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年5月期	—	6.00	—	6.00	12.00
31年5月期	—	—	—	—	—
31年5月期（予想）	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年5月期の業績予想（平成30年6月1日～平成31年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,900	8.8	360	—	400	—	280	—	56.82
通期	9,500	4.7	360	916.5	400	407.7	280	536.9	56.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年5月期1Q	5,500,000株	30年5月期	5,500,000株
② 期末自己株式数	31年5月期1Q	565,370株	30年5月期	565,370株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年5月期1Q	4,934,630株	30年5月期1Q	4,916,864株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(第1四半期累計期間) .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(追加情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における経営成績については、インターネット通販や飲料向け等、段ボール製品の需要の高まりや、前期から取り組んできました製品価格改定の影響で増収となりました。

利益面では、燃料価格は上昇傾向にあるものの、原料古紙価格は前年同四半期を大きく下回ったことから、大幅な増益となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,518百万円(前年同四半期比14.1%増)、営業利益は277百万円(前年同四半期は営業損失139百万円)、経常利益は300百万円(前年同四半期は経常損失118百万円)、四半期純利益は207百万円(前年同四半期は四半期純損失85百万円)となりました。

各セグメントの概況は次のとおりであります。

#### ○板紙事業

当事業関連では、販売数量が前年同四半期比2.6%増加し、製品価格改定も浸透したため、売上高は2,110百万円(前年同四半期比14.5%増)、セグメント利益は268百万円(前年同四半期はセグメント損失144百万円)となりました。

#### ○美粧段ボール事業

当事業関連では、主力の通信機器関連品が順調に推移し、売上高は407百万円(前年同四半期比11.9%増)、セグメント利益は9百万円(前年同四半期69.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は12,371百万円となり、前事業年度末に比べ270百万円増加しました。内訳は、流動資産が185百万円の増加、固定資産が84百万円の増加であります。

流動資産増加の主な要因は、受取手形及び売掛金162百万円の増加であります。また、固定資産増加の主な要因は、投資有価証券123百万円の増加であります。

負債は4,108百万円となり、前事業年度末に比べ7百万円増加しました。内訳は、流動負債が48百万円の減少、固定負債が55百万円の増加であります。

流動負債減少の主な要因は、未払費用55百万円の減少であります。また、固定負債増加の主な要因は、繰延税金負債64百万円の増加であります。

純資産は8,262百万円となり、前事業年度末に比べ263百万円増加しました。主な要因としては利益剰余金178百万円の増加及びその他有価証券評価差額金85百万円の増加であります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の66.1%から66.8%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前事業年度との比較・分析を行っております。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年5月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「第2四半期(累計)業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,944,628	2,972,781
受取手形及び売掛金	3,670,327	3,832,757
商品及び製品	338,871	341,472
仕掛品	16,600	19,892
原材料及び貯蔵品	514,749	502,790
その他	22,420	23,673
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	7,505,597	7,691,368
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	456,571	447,768
構築物(純額)	103,310	101,628
機械及び装置(純額)	1,066,004	1,031,593
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	13,715	13,767
土地	194,549	194,549
リース資産(純額)	32,588	39,560
建設仮勘定	215	—
有形固定資産合計	1,866,953	1,828,868
無形固定資産	8,043	7,488
投資その他の資産		
投資有価証券	2,708,585	2,831,770
出資金	9,793	9,793
その他	2,055	2,055
投資その他の資産合計	2,720,434	2,843,618
固定資産合計	4,595,431	4,679,975
資産合計	12,101,029	12,371,343
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,158,070	2,173,937
未払金	292,958	281,118
未払費用	604,812	549,174
未払法人税等	96,307	68,885
その他	86,891	117,280
流動負債合計	3,239,040	3,190,396
固定負債		
繰延税金負債	363,540	428,297
退職給付引当金	424,582	410,351
その他	74,691	79,885
固定負債合計	862,814	918,534
負債合計	4,101,854	4,108,931

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	821,070	821,070
資本剰余金	738,312	738,312
利益剰余金	4,989,449	5,167,546
自己株式	△213,251	△213,251
株主資本合計	6,335,580	6,513,677
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,663,594	1,748,734
評価・換算差額等合計	1,663,594	1,748,734
純資産合計	7,999,174	8,262,411
負債純資産合計	12,101,029	12,371,343

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年6月1日 至平成30年8月31日)
売上高	2,208,347	2,518,823
売上原価	1,991,421	1,888,329
売上総利益	216,926	630,494
販売費及び一般管理費	356,051	352,875
営業利益又は営業損失(△)	△139,125	277,618
営業外収益		
受取配当金	19,761	22,189
その他	976	916
営業外収益合計	20,737	23,106
営業外費用		
売上割引	531	573
その他	0	0
営業外費用合計	531	573
経常利益又は経常損失(△)	△118,919	300,151
特別利益		
投資有価証券売却益	569	—
特別利益合計	569	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△118,350	300,151
法人税、住民税及び事業税	1,014	64,983
法人税等調整額	△34,230	27,463
法人税等合計	△33,215	92,446
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△85,135	207,704

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。